

一般社団法人 からし種の会後援会

感謝と御報告

理事長 小淵 康而

クリスマスが近づきました。この一年間も当後援会に多くの方々から暖かな御協力を賜りましたことを、心より御礼申し上げます。去る8月をもって、からし種の会に創立当初より協力頂きました山北牧師はじめ、東京の聖ヶ丘教会の有志の方々からの融資金を全額返済することができました。感謝です。これからも御協力をよろしく願います。

後援会個人献金等 一般社団法人からし種の会後援会

2023年2月1日～
2023年10月31日分

■賛助会費、維持会費、自由献金

氏名	金額	氏名	金額
日本キリスト教団 高田教会	3,000	中藤 栄子	3,000
敬和学園大学 キリスト教と教育委員会	7,000	佐渡教会	3,000
平原 公子	10,000	鈴木 恵子	3,000
白鳥 修克	10,000	中俣 正美	30,000
日本基督教団新潟教会	5,000	安藤 紀子	5,000
味岡 申宰	3,000	八木澤 久美子	10,000
武居 一枝	3,000	神保 みゆき	5,000
河上 正義	5,000	青山学園初等部	30,000
並木 浩一	5,000	牛木 秀子	10,000
山岡 清二	5,000	新発田教会	10,000
田邊 昌邦	5,000	貝塚 夕紀代	5,000
重島 高美	2,000	新潟地球村教会	10,000
松崎 博司	5,000	明地 美智子	5,000
渡辺 きぬよ	3,000	新潟信濃町教会JC	3,000
久保 和子	50,000	鈴木 照代(青梅)	5,000
遠藤 真一	10,000	五泉教会	2,300
饒村 悠子	3,000	児玉 幸	5,000
竹内 晃	5,000	山崎 ハコネ	1,205,000
高橋 和彦・華枝	3,000	高橋 律子	5,000
守下 義之	20,000	日本基督教団 聖ヶ丘教会	20,000
久保 和子	50,000	山北 宣久・千世	50,000
古川 久子	3,000	匿名	100,000
イエス・キリスト栄光教会	5,000	石田 雅嗣	13,238
竹田 一光	3,000	後援会寄附金合計	1,760,538

■法人寄附

氏名	金額
永田 陽子	20,000
並木 浩一	10,000
匿名	10,000
新潟市社会福祉協議会	20,000
新潟市社会福祉協議会	10,000
小池 由佳	5,000
ふんわりメイト	45,000
合計	120,000

○所得税控除の為に法人へご寄附をされる方は下記の口座へお振込みをお願いします。

法人の口座

- ・第四北越銀行 小針が丘支店
普通預金
口座番号：1311450
口座名義：社会福祉法人からし種の会
 - ・ゆうちょ銀行
口座番号：00520-2-49444
口座名義：社会福祉法人からし種の会
- ※ご不明な点はお問合せ下さい。
TEL 025-201-7688

献金・ご寄附のお願い

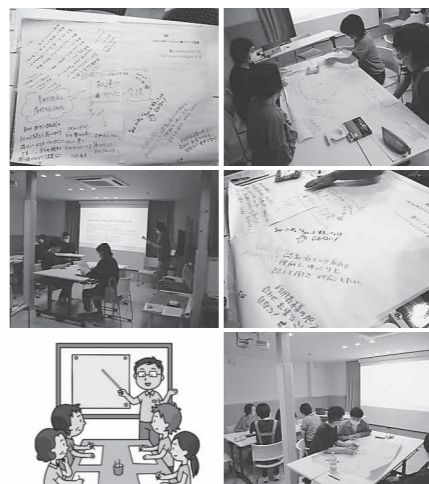
看取りの家、たまり場、みんなの食堂は自主事業で行っておりますので、運営は皆様からの献金・ご寄附に支えられています。ご支援をよろしくお願いいたします。

後援会の口座 郵便振替口座 払込取扱票で入金の場合

口座番号：00540-6-53627 加入者名：一般社団法人 からし種の会後援会

職場内研修 身体拘束廃止・ 虐待防止研修を受講して

のぞみ職員 横井 清彦
二〇二三年九月二十八日・二十九日の二日間、身体拘束廃止・虐待防止委員会主催による職場内研修があり参加させて頂きました。資料を中心とした説明を経て、グループワークを行いました。職員同士が「したい介護」「してはいけない介護」を用紙に書いて話し合いを行い、様々な意見が出た中で、時間や人が足りないという意見が出ました。そのような状況の時に、言動で行動を制限してしまいがちになります。忙しい時こそ一呼吸置き周囲の安全を確認しながら、自由に行動してもらえようという心がけて行くとともに、人権を尊重した「身体拘束のない介護」を学べた一日でした。



編集後記

「からしだね」第三十七号を手にとったときありがとうございます。今回はパズルの内容を中心にお送りしました。実際にクラスターが発生したユニニットもあり今年もコロナ禍でのパズリとなりましたが昨年同様安心して皆様に参加できるよう工夫しながら行うことができました。本号にある写真を通してホームの活動や日々の様子を少しでも知っていただけたらと思います。今後ともからし種の会をよろしく願います。

(樋口俊介)



祈り対話して

理事長 山崎 ハコネ

からし種の会は任意団体時代も含め、「キリストの愛と自由の精神」に基づいて今日まで事業を進めてきましたが、本年度で創立二十五周年を迎えました。

これもひとえに、創立以来からし種の会のために祈り、お支えくださいました多くの皆さまと、ご利用者やご家族とともにからし種の会のために尽くしてこられた職員の皆さんのおかげと心から感謝を申し上げます。

特に草創期においては、聖ヶ丘教会の当時の牧師山北宣久先生はじめ教会の皆さまには、大変お世話になりました。言葉では言い尽くせないほど、祈っていたいただき、ご支援を賜りました。また、主にあるお交わりの中であたたく見守られ、育てられてきました。心よりお礼を申し上げます。また、長年の後援会の借財も二〇二三年度で完済することができました。この恵みに応えるべく、私たちは原点に立ち返り、次なる新しい一歩を恐れずに踏出す時を与えられているのかもしれない。法人のよって立つミッションを確認して歩みましょう。

同様にこれまでの事業においても、二十五周年を機に時代のニーズや福祉課題等一つひとつ見直ししていくことが求められています。

しかしながら、私たちはこれまでのコロナ禍での生活においてご利用者やご家族の皆さまに面会制

限をはじめさまざまな制約のお願いせざるを得ず、ご不便をお掛けしたと思います。たとえ二〇二三年五月以降新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが五類に変更されましたもコロナウイルスが消失したわけではありません。高齢者施設等は重症化リスクを有する高齢者が多く生活しているため、クラスター発生は起こりえることとして平時の備えをなしていかなければなりません。小規模な認知症グループホームで働く職員たちの緊張と負担の大きさは想像以上のことでしょう。病院や入所施設で働く従事者のために、良き人材確保等のために、当ホームも例外ではなく是非、祈ってほしいと願います。

認知症グループホームにおいては、ご利用者ご家族の関係はもちろんですが、職員とのなじみのある日ごとの人間関係が生活に直結していきます。ご利用者の方は職員の顔というより声でだれかを確認しています。十月末に召された百歳のAさんは、職員の声を確認し、まばたきや舌をうごかしながら、その声掛けに、最期の別れのことばに添えておられました。Aさんはグループホームマナの家が開設された二〇一一年四月に入居されました。重度化が進み、グループホームの機能だけでは対応できず、法人の公益事業である愛隣包括的支援事業・マナの家に移られて、訪問看護・訪問入浴・デイサービス等の在宅サービス、成年後見制度、往診、法人独自サービスを受けつつ、十二年目の看取りとなりました。

この間にご主人の死、一人娘の死がありました。Aさんを身内のように愛して寄り添う職員たちに囲

まれて、ご利用者との交わりの中で、ケアマネージャーや成年後見人等の専門職らとの連携の中で、ご本人とご家族の意思を尊重した看取り支援の実践となりました。

全国認知症グループホーム協会の調査でも利用中のグループホームでの看取りを希望する人の割合は六十三・九%と高いことが報告されています。しかし、同調査結果によれば、グループホームでの看取りは一部ほどで、多くの場合、「ホーム内での医療的な対応に限界がある場合(重度・急性期等と見込まれる)に退居しており」という結果で、当ホームも残念ながら例外ではありません。それだけにご本人とご家族の意向に沿いつつ、医療機関との連携のもと、丁寧な説明と話し合いを重ねながら、どの場所であろうとご本人にとつての最善な場所であることを求め、お互いに準備をしていくことが大事なことではないでしょうか。多くのご利用者の方々が教えてくださったことから言えば、自ずとご本人自身が行く先を決めていられるように思います。

アメリカの神学者ラインホルド・ニーバーの祈りを謙虚に祈りつつ、変えることのできるものについては努力と工夫を皆さんと一緒に行うべく、場所を用意するという使命に向かって進みゆく、ひとりひとりでありたいと願わずにはおられません。どうぞ、これからもご理解とご支援のほどよろしく願います。

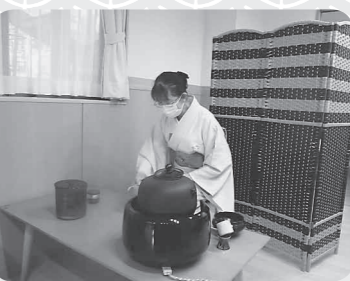
神よ、
変えることのできるものについて、それを変えるだけの勇気をわれらに与えたまえ。
変えることのできないものについては、それを受け入れるだけの冷静さを与えたまえ。
そして、変えることのできるものと、変えることのできないものとを、識別する知恵を与えたまえ

(ラインホルド・ニーバーの祈り)

「一体感」

西有明町第一自治会長 島崎 浩一
 十一月三日、からし種の会、西有明町福祉の会、地域住民による作品展、福祉バザーが開催され、晴天にも恵まれ大勢の参加を頂きました。マナさんよりお借りした作品展展示室では、再会を喜ぶ旧知の方々の会話が弾み、近隣住民の協力のもと隣接道路を全面利用したバザーロードではゲームコーナーや食販、フリマに家族連れ子供たちの笑い声で溢れました。芋ご飯は店頭に出るたびに即売、私のお昼は手作りおはぎと芋煮をおいしくいただきましたが来年は是非芋ご飯を食べたいと思います。また寸胴鍋をお借りした児童センターには手作りクッキーを持参し喜んで頂くなどショータイムも盛況で無事終了することができました。

町内会長になるまでは地域・自治会行事に無関心でバザーも初参加でしたが、社会福祉法人からし種の会、ボランティアの福祉の会、地域住民の方が一緒に協力して開催していただいたことに大変感動しました。特にマナの家の職員は多忙業務をこなしながらの準備ご苦労様でした。



西有明地域住民作品展 & からし種の会♥福祉バザー

西有明地域住民作品展 からし種の会福祉バザー

2023年11月3日(金祝)
 10:30 ~ 14:30
 場所: マナの家 周辺(バザ-道路)
 新潟市西区西有明町 2-5 マナの家

地域コーナー

10:30~ 作品展 (マナの家 周辺の各エリア)
 11:30~ 芋煮

10:30~13:10 食-フエお餅お花巻
 13:10 オマケダンス
 13:40 マジックショー
 14:10 文楽劇上演

☆雨天の場合、中止変更あり

マナの家福祉バザー

10:30~14:00
 ○ゲーム・遊戯コーナー
 輪投げ 玉入れ 射的 千本引き
 ○わたあめ(12:00~)
 ○フリーマーケット
 着付品、手作り手芸品 など
 ○食品販売
 おはぎ、いしご餅、からあげ、
 煮込みおにぎり、もち(お餅)、
 霜り切り炊飯、お漬物 など

茶席 (13:00~14:00 マナの家 121)
 お茶席の事前申込みをご希望の方は
 マナの家、下記の電話番号にて
 お申込み下さい。 300円

からし種の会、マナの家 TEL.025(200)7889



バザーを振り返って

めぐみ職員 治 峻 太朗
 昨年に引き続きバザーのゲームを担当致しました。今年も利用者様に飾り作りと小道具作りを手伝っていただき、何とか期間内に余裕をもって準備することができ、大変助かりました。

バザー当日には今年もたくさんのお客様に来場していただき、ゲームで遊ばれたお客様が楽しそうにされ、また出来を褒めてくださる親御様もいらっしや、頬が緩んだ事をよく覚えてます。

お客様にたくさん遊んでいただけただけで景品が全てなくなり、その後はゲームを無料で開放しておりました。それでも何度も遊んでくださるお客様がいらっしやった事が一番嬉しかった事のように思います。



「夏祭り」

からし職員 斎藤 信恵
 八月十九日からし種の家で夏祭りを行いました。今年の夏は例年になく暑い夏でしたが、親睦を深めるという目的のもと皆様お元気にお祭りを楽しむことが出来ました。

お祭りムードたつぷりに首に手拭いをかけながらの輪投げや、射的など無理のない範囲でのゲームを楽しみました。それから、首に素敵なレイを掛けフラダンスも踊りました。終わりに、職員手づくりの美味しいポップ焼き、懐かしいラムネや綿あめをいただきました。皆様に「美味しいね」と、皆様とホッとすると時を味わうことができました。

これからも利用者様の笑顔が見られるように、楽しい行事を行っていかうと思っております。そして、皆様からの御守りと、お導きを心からお祈りいたします。



コロナウイルス感染症対応を振り返って

めぐみ職員 長岡 勇太
 二〇二三年八月月上旬、めぐみユニット内にてコロナウイルス感染症のクラスターが発生しました。利用者様と職員の大抵の人数が感染してしまいました。日々の業務に加えて個別対応、消毒、防護服の着用、定期的な健康チェックなど対応に追われる毎日でした。感染拡大を防ぐためにユニット内の職員のみで対応しなければならず、勤務体制が長時間、連続勤務の職員もおり疲労がたまっていました。職員同士の助け合いにてなんとか乗り切ることができました。

結果的に、利用者様は一名を残して全員が感染してしまいましたが、幸いにも誰一人生命の危険に及ぶような重症化しなかったこと、一番重症化の危険がある一名に感染させず終息を迎えることができたこと、限られた生活空間にてスイカ割りや、的あてゲームなど楽しみことも作れたことをプラスとして捉えるようにして、今後につなげていきたいと考えています。

みんなの食堂

みんなの食堂はお弁当の配布という形で、毎月一回開催しています。旬の食材を活かし、巾着煮や干草焼、はさみ揚げなどすべてボランティア、スタッフの手作りで提供しています。夏休みには子どもたち向けのお弁当メニューコンテストを開催しました。ボランティアさんも含めて審査し、選ばれたメニューのお弁当を提供予定です。

また、JA共済連新潟様、いっぺこーと様、新潟中央ヤクルト販売様、すずまさ農園様から食材をご提供いただきました。感謝いたします。

開催日等はマナの家掲示板、からし種の会ホームページでご確認ください。



マナのなんでも相談 上映会

マナのなんでも相談では、九月六日に映画「ぼけますから、よろしくお願ひします。」の上映会を開催いたしました。認知症の母と老々介護する父の暮らしを娘の視点で描いたドキュメンタリー映画です。当日は五名の地域の方にご参加いただきました。地域の方と認知症や老々介護といった社会課題と向き合う時間を共有することができ、短い時間ではありましたが、とても有意義な時間となりました。ご参加いただき、ありがとうございました。

